

## 室内環境による温冷感調査と改善策の検討（第一報）

【目的】透析治療中の患者から冷暖房のクレームが多く、空調が患者のストレスになっていることから透析室内環境の実測調査とアンケート調査を実施し改善策としての空調方式の検討を行った。

【方法】患者・血液浄化室スタッフへのアンケート調査ならびに室内環境の測定調査

【結果】アンケート調査から患者の治療中の悩みとして空調に関することが一番多く、スタッフも同様の結果だったが、スタッフに合わせると患者には寒いという状況だった。空調機からの風により環境が異なっていた。

【考察】透析室空調の難しさは患者とスタッフの体感温度の差にあることがわかった。患者だけでなくスタッフも快適に過ごすには活動量・着衣などを踏まえ、両者が許容できる方法が望ましい。風による温度ムラは湿度・気流を低くする方法が必要と考える。

【改善策の検討】患者とスタッフの体感温度の差は湿度調整や着衣を改善することで対策し、風による温度ムラには風を感じない空調システムの導入し効果を検証する。